

読書論

～本の良さを見直そう～



このページは、市民の視点による広報誌作りを進める厚別区役所からの依頼を受けて、私たち北星学園大学の学生6人で執筆しました。私たちは、大学のゼミで消費者の意思決定行動やマーケティングなどを研究していますが、文献の読解力や研究結果を的確に伝える表現力の重要性をあらためて感じています。そこで、『読書』の効果をテーマに選び、レポートを作りましたのでお読みください。

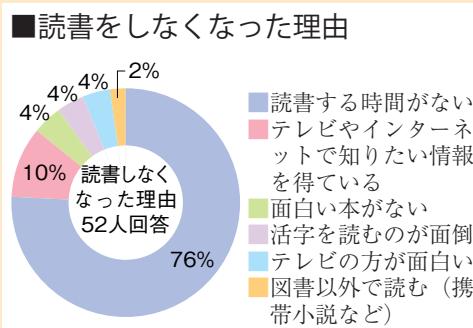
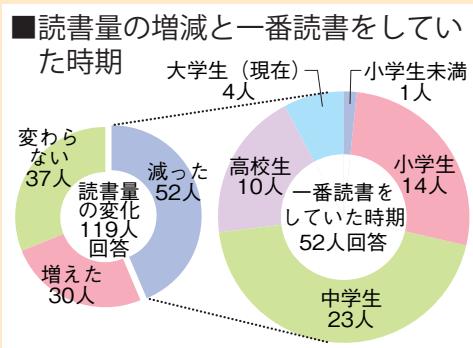
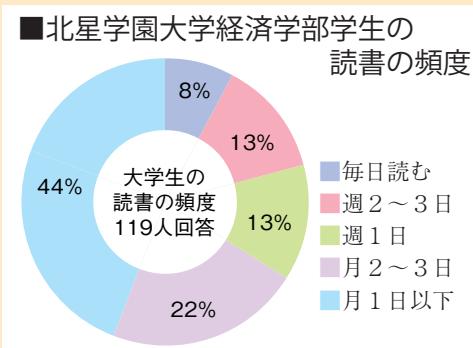


大学生は本を読んでる?

最近、私たち大学生を含めた若者が本を読まなくなっているといわれています。そこ

で、北星学園大学経済学部の学生¹¹⁹人に読書に関するアンケートを行つてみました。

が月1日以下」と回答した学生が44%に達し、約半数の52人が、以前より読書量が減つたと答えています。その主な理由は「時間がない」、「テレビやインターネットで知りたい情報を得ている」などでした。学生が読書から遠ざかってしまう背景としては、テレビやインターネットといったメディアの浸透があります。少ない時間を生かして、これら



のメディアで得た各種の情報を自分でつなぎ合わせ、一つのカタチにすることで役立つものにする習慣が身に付いているのです。

読書は必要ない？

そのスピーディについていけず、理解を深めることができないのでしょう。

